神奈川県

KANAGAWA

私の舞台がここにある

神奈川県職員
森林職 採用案内

神奈川の豊かな自然・森を
次世代につなぐ

1 神奈川の魅力

●我が国の政治・経済・文化などの中枢的役割を担う首都圏にありながら、海・山・川・湖などの自然と歴史・文化に恵まれるなど、多彩な風土を持っています。
●異国情緒あふれる港町・横浜をはじめ、国内屈指の人気温泉地が点在する箱根、海岸沿いのドライブが気持ち良い湘南、豊かな自然に恵まれた丹沢など、地域の魅力がぎゅっと詰まっています。

2 神奈川県が進める森林再生の特徴

●神奈川県の県土面積は、47都道府県で下から5番目というとても小さな県ですが、人口は全国2位で約920万人の県民が暮らしています。森林率はなんと約40%もあります。
●治山・林道事業、森林整備事業などを実施する際は、自然再生や生物多様性など自然環境全体への効果や影響を考えながら取り組んでおり、SDGsの推進や脱炭素社会の実現にも貢献しています。
●森林再生を進めるうえで重要なポイントであるシカ管理等は、研究部門と連携し、PDCAサイクルにより、全国でも最先端の事業を展開しています。
●水源環境を保全・再生し、県民の暮らしを支える良質な水を安定的に確保していくために、県では平成19年度以降、「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」に基づき個人県民税の超過課税（水源環境保全税）を活用して特別な対策を推進しています。

治山事業とシカ管理捕獲等の効果により
崩壊地に森林が回復（丹沢・堂平沢）

3 業務内容の紹介

神奈川の森林職は、住民の生命・財産を守る治山事業から、森林づくり、シカ管理、木材の利用促進まで非常に幅広い分野にわたっており、森林技術や自然環境の専門家です。

Ⅰ 森林整備、水源の森林づくり

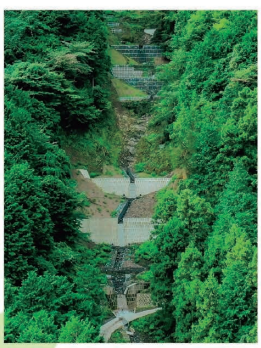
◆水源のかん養や木材生産など森林が持つ多様な機能を高度に発揮させることは、自然環境保全だけでなく私たちの生活にとても重要なことです。このため県では、県有林の整備や管理を行うとともに、所有者が整備・管理できない森林を県が代わりに行ったり、市町村や所有者自らが整備・管理する際には、必要な経費を補助しています。

Ⅱ 林業普及指導事業

◆森林施業の集約化を図り県産木材の有効活用を推進することで持続的な林業の再生を進めるため、所有者や森林組合等に指導、助言を行います。
◆間伐材などの安定的な生産体制を構築し、搬出された様々な質の原木を安定的に流通させるなどの取組を進めるほか、公共施設や住宅への県産木材の利用促進を図るなど、生産、加工・流通、消費にわたる総合的な取組を進めています。

Ⅲ 治山事業、林道事業

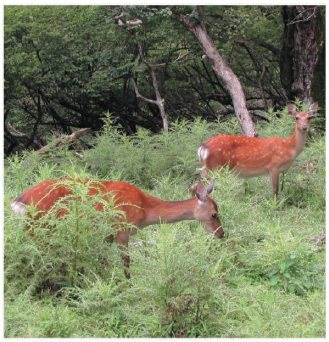
◆山地災害等から県民の生命・財産を守り、保安林の機能を復旧させるため、荒廃した渓流や崩壊地の調査、測量を行い、治山ダム工や山腹工等の設計・施工・監理を行っています。
◆森林整備や木材生産の効率性を高めたり、車両通行の安全性の向上を図るため、林道の開設、法面改良、舗装、トンネルの補修等の設計・施工・監理を行っています。



Ⅳ 野生動物保護管理

◆シカの採食により衰退した丹沢・大山及び箱根山地の植生回復等を図るため、シカの生息密度等を調査するとともに標高が高く捕獲が難しい地域を中心にシカ管理捕獲を実施しています。

◆このほか、ツキノワグマ、ニホンザル等の鳥獣被害対策にも取り組んでいます。



Ⅴ 自然公園の整備、管理

◆富士箱根伊豆国立公園（箱根地域）や丹沢大山国定公園等の自然環境の保全及び公園利用者の安全性・快適性の向上を図るため、登山道や環境配慮型トイレなど自然公園施設の整備や管理を行っています。

Ⅵ 研究

◆森林や自然環境の保全再生事業を順応的に実施するため、森林・自然環境のモニタリングを行うとともに、水源林の整備・再生技術の開発、無花粉スギ・ヒノキの研究・開発などを行っています。

Ⅶ 保安林の管理、林地開発許可業務

◆保安林を適切に管理するため、保安林の樹木の伐採行為等への許可事務や保安林の指定等の事務を行っています。また、保安林以外の森林が開発される場合には、適切な開発となるよう指導や、許可等を行います。

4 森林職職員の紹介 ～先輩職員からのメッセージ

森林再生課基盤整備グループ

籾山 健太郎 主査

（平成22年入庁）

平成22年4月 県西地域県政総合センター
平成25年4月 県央地域県政総合センター
平成28年4月 自然環境保全センター
令和 元年6月 湘南地域県政総合センター
令和 7年4月 森林再生課基盤整備グループ

私が担当している治山事業は、森林の維持造成（保全）を通じて、山崩れや地滑りなどの森林被害から、県民の生命や財産を守ることを目的とした重要な公共事業です。
県内で実施される治山事業が円滑に行われるよう、事業の進捗管理等の仕事に取り組んでいます。
朝、保育園への送迎から始まる日は、時差出勤しています。ワークライフバランスを重視した制度が活用できる職場環境はいかがですか。

ある1日のスケジュール

7：20	登庁
7：30	メール・担当案件チェック
9：00	グループミーティング 会議の準備（会場手配・日程）
12：00	昼食、休憩
13：00	相談への対応 出先機関との調整・資料作成等 照会事項への対応
16：30	退庁・子どものお迎え準備

自然環境保全センター 足柄出張所

山﨑 ひかり 主任技師

（平成27年入庁）

平成27年4月 県西地域県政総合センター
平成30年4月 湘南地域県政総合センター
令和 3年4月 自然環境保全センター
足柄出張所

私は小田原市や箱根町、山北町など県西部の県営林において、木材の生産を目的とした造林事業や、高標高域の人工林の土壌保全対策などの業務を担当しており、現在は育児との両立のため、育児短時間勤務制度を利用しています。
所員と協力して現地調査を行い、その施工地に適した施業ができるよう相談しながら仕事を進めており、植栽木が年々成長していく様子や間伐材搬出後のすっきりした林内を見ると、やりがいや達成感を感じることができます。
皆さんもかながわの森林のために一緒に働きませんか。

ある1日のスケジュール

9：20	登庁
9：30	メール・担当案件チェック ミーティング 調整・照会事項への対応
10：00	現場へ向け出発　現地確認・立会い
12：00	昼食、休憩
13：30	帰庁 ・調査データとりまとめ ・調整・照会事項への対応 ・資料作成等（設計・監督業務）
15：25	退庁

●通常勤務は8:30～17:15です。上記2名は各種支援制度を活用中です。

5 働きやすい支援制度

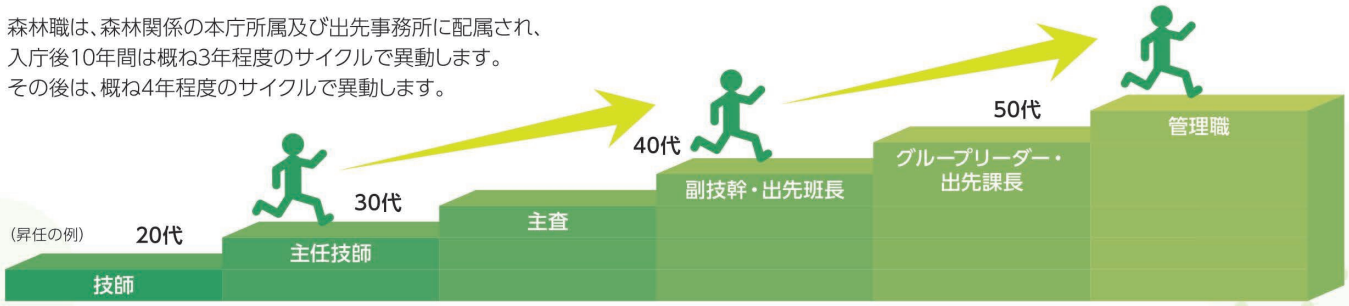
●神奈川県庁では現在、全庁をあげて働き方改革を進めており、自分のライフスタイル(家庭と仕事の両立)やライフステージに応じた柔軟で多様な働き方を推進する取組を進めています。
例えば…
・7時00分から10時30分まで30分単位で始業時間を変更できる拡大時差出勤やフレックスタイム制度の導入のほか、テレワークの活用などがあります。
・子育て支援では、時間単位で取得できる育児休暇や子どもの看護等休暇など様々な制度を設けており、育児しやすい職場づくりを進めています。

6 キャリア形成支援

●入庁してすぐに受講する神奈川県職員として必要な知識やスキルを習得できる研修のほか、森林整備等に関する専門的な技術、知識がない方でもそれぞれのレベルに応じて受講できる研修も随時設けています。また、日々の業務では先輩職員が丁寧なOJTにより若手職員のサポートをしています。
●具体的には、主な研修制度として、新規採用職員研修、階層別指定研修、選択研修(基礎実務、応用実務)等、公務員としてのキャリアアップを図るための研修や森林、自然再生技術についても林野庁等の研修を活用し治山事業や生物多様性保全など各分野に関する初級から上級レベルの研修があります。また各事務所の森林職による技術交流会に参加することで、さらなる研鑽を積むこともできます。
●若手職員を主体とするプロジェクトチームを立ち上げ、課題解決のための技術マニュアルを作成するなど、施策に若手の意見を取り入れ成果をあげています。

7 異動と昇任

森林職は、森林関係の本庁所属及び出先事務所に配属され、
入庁後10年間は概ね3年程度のサイクルで異動します。
その後は、概ね4年程度のサイクルで異動します。



令和7年1月1日現在　初任給月額(給料+地域手当)　約253,000円

8 主な勤務地

県内にはJRや私鉄が縦横に整備されており、バス路線もきめ細かく張り巡らされているため、引っ越しをせず通勤することも可能です。

〈本　庁〉(横浜市中区)(約30名)
❶:環境農政局総務室、森林再生課、自然環境保全課、水源環境保全課
〈出　先〉(約130名)
❷:自然環境保全センター(厚木市)
❸:横浜川崎地区農政事務所(横浜市緑区)
❹:横須賀三浦地域県政総合センター農政部(横須賀合同庁舎・横須賀市)
❺:県央地域県政総合センター森林部(厚木合同庁舎・厚木市)
❻:県央地域県政総合センター森林部(津久井分室)(津久井合同庁舎・相模原市緑区)
❼:湘南地域県政総合センター農政部(平塚合同庁舎・平塚市)
❽:県西地域県政総合センター森林部(足柄上合同庁舎・開成町)

9 採用試験情報

神奈川県人事委員会
県職員採用案内
最新情報はこちら

仕事内容をさらに詳しくお知りになりたい方は、各所属のホームページをご覧ください。

自然環境保全課　水源環境保全課　森林再生課　自然環境保全センター

神奈川県
環境農政局　緑政部森林再生課　調整グループ
〒231-8588　横浜市中区日本大通1
電話 (045)210-1111(代表)内線4336　(045)210-4336(直通)

FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022337